

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年5月30日				
サポートキッズみどりまち						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	大部屋2か所を使い分けて支援している。	今後も継続し、部屋の有効活用をしていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	3		職員が手薄にならないよう、勤務調整等をおこないつながりながら運営していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1		完全バリアフリーではないが、該当児がある場合には踏み台やポータブルトイレ等を使用し対応できるようにする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		整理整頓や清潔を保てるよう、5S活動を取り入れ、心地よい環境づくりを行う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	疲れが見られる児童には別室で休憩など促している。	疲労が見られる児童や職員と面談を行いたいと希望する児童には適切な場所で過ごすことを継続していく。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		業務改善会議を行っている。	不定期ではあるが改善が必要な際には適宜開催、参画できるようにしていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		評価表を基に業務改善に取り組んでいく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		業務改善会議やミーティングを行う事で各職員の意見等を把握、共有できるようにしている	個別面談を行ってさらに細かい意見をとり入れていきたい
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	7	同法人、他部署の職員が入り、評価をおこなっています	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		外部、内部研修を行っている。	外部・内部（法人内資格者）、動画視聴などを行い、開催している。 今後は頻度を挙げて取り組んでいきたい
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		毎日の活動予定を保護者さんに配布している。	翌月の予定表を配布、SNSでの公表も行っている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		職員間での多面での意見を聞き取りながら作成しています	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		作成時には各職員が共通理解できるよう会議を行っています	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		計画書の共有をし、支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	独自のものをしようしています	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		計画案をもとに各項目設定をし、支援をおこなっています	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	できている。 活動内容が偏らないように、各職員で案をだし、決定している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	各項目、固定化しないよう細かく設定できている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	2	児童の身体的、また情緒的な安定を図ることのできるよう工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	朝、昼のミーティングで支援内容、活動内容を確認し、支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		終業ミーティングを行っている。 終業ミーティング時に不在だった職員には翌日のミーティングで共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		できている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		モニタリング会議時に各職員からの意見をもとに見直している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		自分の気持ちとうまく伝えられない児童には職員からの複数の選択肢を出し、自己決定がしやすい環境を作っています	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		できている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		近隣のクリニックへ協力してもらっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		お迎え時の申し送りやスクリレの活用をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	利用時には各事業所、関係機関からの聞き取りを行い、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	障害福祉サービスへの移行者なし	今後該当児がある際には情報提供、共有していきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	6		研修への参加が少ないので、今後さんかできるようにはたらきかけていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	2	夏休みに2回、近隣学童との交流を行った	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	自立支援協議会への参加はありませんが、地域の連絡会への参加はできています	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9		LINEや連絡帳での報告を行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9		ご家族様からの相談などには職員が対応している。	家族等が参加できる研修の機会や情報提供の回数が少ないので今後は情報提供の頻度を上げていきたい
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		契約時に説明をしています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	モニタリング時に確認を行っています	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	ご家族様からの相談などには職員が対応しています。	今後、保護者会やお茶会を開き、相談のしやすい環境づくりを行っていきたい
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	2	3事業所合同のイベント開催時に保護者会を開催している。	イベント開催時の案内が足りていなかったもので、今後はしっかりと案内できるよう工夫し、また、事業所のみの保護者会も行って生きたい
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		保護者様だけでなく、児童からの苦情も受け入れ、改善できるようにしています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		SNSの活用をしている。	SNS掲載頻度が少ないので今後は頻度をあげ、発信していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		SNSや事業所内通信等、写真使用の可否アンケートをとって対応している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		言葉でうまく伝わらない際にはイラストなどで情報が伝わるように配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7	3事業所合同イベント時に行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	避難訓練、台風時の連絡を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1	避難訓練（津波、地震、火災）の実施、防災バグの確認を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1	与薬依頼書にて確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	アレルギー項目チェック、アレルギーのある児童情報を貼りだし、誰でも確認できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	児童が安全に過ごすことができるよう、職員間での確認や訓練を行っています	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	3	契約時に説明をしています	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ヒヤリハット報告書を作成、職員間で共有し、事故につながらないよう確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止研修を実施している。	一年に二回以上の実施を行っていきたい
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		児童に沿った取り決めで行っている。	当該児童がいる際には個別支援計画書へ記載、実施した際には記録をおこなっている。